

5月例会を終えて

主幹 社会開発委員会 副委員長 阿部 諭



5月例会は一関市役所若手職員、一関商工会議所青年部、一関青年会議所の交流の場として今までも開催されてきた呑輝塾へ新たに一関地区法人会青年部会の皆様にご参加頂き、一関青年会議所が事務局主管となり開催いたしました。今回の目的は、それぞれ多様な経緯で設立されながらも一関の発展に寄与したい想いは一緒である各青年団体と連携を深め、お互いの行っている事業を知り、より良い地域づくりへと繋げることでした。

事前準備として各団体担当者と事務局会議として準備を進めてまいりましたが、呑輝塾をより楽しめる場とするアイデアも多く生まれ、準備自体も各団体との連携を実践する場にする事ができました。

商工会議所青年部は子どもの自立心や経済感覚を育む事業である「ジュニアエコノミーカレッジ」をご紹介頂きましたが、昨年携わった青少年委員会の事業にも取り入れられる部分が大いに感じました。また、長田副市長におかれましては今年度の市政についてご紹介頂き、行政の取り組みと我々の活動の連携を考える上で非常に参考になりました。その後の懇親会では直接質問が飛び交い、双方向の意見交換が出来る場となったと感じております。

今回は事業紹介やゲーム大会と初めての企画を用意しましたが、今後より多くの方に参加頂けるよう、さらに楽しく交流を深める企画を考えていきたいです。

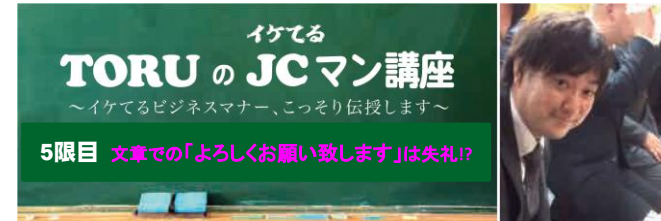
末筆ながら今回の事業にお力添え頂きました多くの皆様に厚く御礼申し上げます



理事長の今月の格言

過去と他人は変えられない。
しかし、いまここから始まる未来と自分を変えられる。

by エリック・バーン



普段から、ビジネスやJCでの活動で相手に文章を出すことやメールを出すことが多いと思われます。今回から、間違えやすい文章フレーズをピックアップしていきます。「よろしく願ひ致します」日常的に使う「よろしく願ひ致します」という言葉。しかし「致します」と漢字で記載するか、「いたします」とひら仮名で記載するかで用法が異なります。「致します」は動詞の用法になり、「そのことが元で、よくない結果を引き起こす」という意味が含まれます。反対に、「いたします」は補助動詞「する」の謙譲語・丁寧語の用法です。つまり、「よろしく願ひいたします」が正しい用法だそうです。JCでも頻繁に使うことが多いフレーズです。これを機に気をつけて使ってみましょう！



今回はバイクの話
私は震災後、今までやってきたけど我慢してきた諦めてきたこと、そんなことに挑戦する生き方をしてみようと思った。その一つがバイクに乗ってみたい！だった。早速、中型自動二輪免許取得のため教習所に通った。そこでは可愛い女性教官に乗り方がダサいだの何だの罵倒され興奮し、気付いたら大型自動二輪を取っていた。私の愛車はMOTO GUZZI V7 Stoneというバイクだ。イタリア製で排気量は750cc。縦型Vツインのシャフトドライブという極めて珍しいバイクだ。見た目も少しブサイクでそこがカッコいい！どうも、ブサイクな物に心が惹かれるのは私の性分らしい(女性以外)。仕事前にエンジンをドコドコ言わせながらプチツーリングに行くのが楽しみである。目的地はどっかのラーメン屋！いつかはテントと寝袋積んでキャンプツーリングに行くのが夢である。JC卒業したら出来るかな？いや、しばらくは出来ないか…。



5回目 浅野流



皆さんは車を運転していて、道を譲ってもらった時に、『ありがとうハザード』を点灯しますか？
脇道からなかなか大通りに出れない…そんな経験をした事がある方も少なくないかと思えます。
そんな時、心優しい方が道を譲ってくれる事があります。
車を車列に入れてもらった後にハザードランプを2~3回点灯する事で「ありがとう」という意味になります。
このハザードランプの使い方はあくまでコミュニケーションの一種です。
しなければいけないわけでもありません。ただ、感謝の意を伝えることで、道を譲った方も譲ってよかったと思うことでしょうか(#^_^#) 急いでいるのに、脇から入ってきて「ムカッ！」としてもハザードを点灯されると心が落ち着きますよね(*^_^*)
「まあ…許すわ…」的に(笑)
お礼を言われて悪い気持ちになる人はいないと思えます。
感謝の気持ちを「伝わっているだろう・分かってくれているだろう」と一人よがりな頭で思うのではなく『伝える』行動を起こす事が円滑な人間関係を築いていける手段だと思えます。



青年会議所 JCとは

青年会議所(JC)は“明るい豊かな社会”の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。
日本の青年会議所運動は、現在697の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、100以上の国及び地域に117のNOM(国家青年会議所)があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。
日本青年会議所の事業目標は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を推し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。